

2019年度 広国市民大学 公開講座

一般向け講座（健康・医療・福祉系） 広島キャンパス開講分

講座番号	日時	会場	講座名・テーマ	内容	定員	対象者	講演者	受講料	問合せ・申込先
1	2019年6月8日（土） 13：00～14：45	8階 800教室	第1回教育心理学入門 わからないのはなぜ：認知の仕組み、わかる工夫	学んだことや教えてもらったことはなかなか身につけません。わかる仕組みとわかりにくくなる原因や理由から、わかりやすくなる工夫と教えるときの配慮事項について考えていきます。	50名	一般	心理学部 准教授 鹿嶋 達哉	無料	心理学部事務室 0823-70-4851
2	2019年6月8日（土） 15：00～16：45		第2回教育心理学入門 やる気が出ないのはなぜ：動機づけを高める	「学びからの逃走」「無気力」などやる気（動機づけ）の低さが問題とされる一方、ゲームやスポーツなど「はまった」ものには打ち込みます。やる気について考えていきます。	50名				
3	2019年6月15日（土） 13：00～14：45		第3回教育心理学入門 いじめが止まらないのはなぜ：ひどくなるメカニズム	いじめは複雑な現象です。中井久夫先生「いじめの政治学」を読みながら、Why（なぜ起こるのか）ではなく、How（いかに進むか）を考えていきます。	50名				
4	2019年6月15日（土） 15：00～16：45		第4回教育心理学入門 わかってほしいのに：子どもの行動と個性の理解	子どもの行動には意味があります。子どもの性格や個性は生まれと育ち（遺伝と環境）のあらわれです。行動の意味や性格をわかるとはどのようなことかを考えていきます。	50名				
6	2019年6月22日（土） 13：00～14：45		第5回教育心理学入門 行動を変えたいのに：学習理論から行動変容へ	行動を変えるには内（心）から変わる方法と環境（からの反応）を変える方法があります。基本的な学習理論（行動と環境との関係を扱う）とその日常生活や教育場面への応用について考えていきます。	50名				
7	2019年6月22日（土） 15：00～16：45		第6回教育心理学入門 話を聞いてほしいのに：聞き手の力・工夫	コミュニケーションの主役は聞き手です。聞き手は話の内容や深さを方向づけます。子どもとの関わりの成功例・失敗例から、いろいろな聞き方／教え方について考えていきます。	50名				
12	2019年8月28日（水） 13：00～14：45		第1回生涯発達心理学入門 赤ちゃん研究から人間理解へ	最近の研究で明らかにされた赤ちゃんの認知・学習・コミュニケーションにおける優れた能力と、それが人間に対する理解や臨床心理学的支援にどのように結びつくのかを考えていきます。	50名				
13	2019年8月28日（水） 15：00～16：45		第2回生涯発達心理学入門 幼児期における遊びの大切さ	幼児の遊びの重要性を次の5点、1) 種々の認知的・社会的能力の基礎、2) 体験の理解、3) 内的世界の表現、4) 自主性・自発性の育成、5) 社会生活の準備から考えていきます。	50名				
15	2019年9月4日（水） 13：00～14：45		第3回生涯発達心理学入門 小学校生活で子どもが学ぶこと	学童期（小学生時代）はこれまで穏やかで安定した時期だと考えられてきましたが、最近は大きな変換点（10歳の壁）を含み、思春期前の重要な時期だとみなされるようになりました。家を出て、教師の指導の下、友だちと学ぶ学校生活の意義を考えます。	50名				
16	2019年9月4日（水） 15：00～16：45		第4回生涯発達心理学入門 思春期：子どもから大人への橋を渡る	思春期は子どもが大人になる難しい時期です。身体の変化、気持ちの揺れ、自己と世界に対する見方の変化、大人／子ども役割と性役割のあいまいさ、親子関係から仲間・異性関係への移行など、大きな変換点を考えていきます。	50名				
18	2019年9月18日（水） 13：00～14：45		第5回生涯発達心理学入門 中年期危機と自己実現	壮年期（中年期）は人生の絶頂期であると同時に、後半の入口となり、転換を迫られる時期です。身体の衰え、残された時間、次世代育成、親と子どもとの関係の変容と、壮年期の課題となる「自己実現」について考えていきます。	50名				
19	2019年9月18日（水） 15：00～16：45		第6回生涯発達心理学入門 ライフサイクル（人生周期）としての生涯発達	人の生涯（誕生～死）における発達をライフサイクル（人生周期）という視点からとらえます。遺伝と環境、前の世代から次の世代へのつながりと相互関係、死など「つながり」をキーワードに考えていきます。	50名				